

【水辺の活動への注意喚起】

日頃から小川や池を始め、川や湖、海などの水辺で活動している森のようちえん団体は多いのではないのでしょうか。だいぶ涼しくなってきた地域もありますが、ヒヤリハットの報告が上がってきていますので、改めて注意喚起をさせていただきます。

森のようちえんの活動が低年齢化し、乳児を対象とする活動（親子の活動を含む）が増えて来ています。自主保育の森のようちえんや自主保育から預かりの森のようちえんを立ち上げた方々は、自然の中での安全管理について、経験もまだ少なく、専門的には知らないところだと思います。

以下に、水辺の活動を行う上での基本的な注意事項を簡単にまとめました。特に乳児（0歳児～3歳くらいまで）の子どもたちを川に連れて行く際に、役立てていただき、安全に、楽しい水辺の活動を行いましょう！

また詳しい川遊びのリスクマネジメントについても追って、共有いたします。

<こんな時、こんな場所は気をつけて！>

- 子どもは、水深が10cmで溺れることもあります！
- 子どもの膝上の深さでは、水の抵抗で歩くことが難しくなる
- 雲行きがあやしい、遠くでゴロゴロ雷の時はすぐに活動をやめること
- 大人が水圧を感じる流れは、子どもにとっては強い流れ
- 大人が多くても、子どもの様子に集中していなければ意味なし！
- 少しでも不安に思うような場所は選ばない
- 「見守り」は、安全があってこそ！子どもを守るのは大人の役目です！
- 「自由」であっても、範囲や約束事は決めておくこと

<静かに溺れる！>

子どもが溺れる時は静かに溺れます！
大人が子どもと夢中で遊んだり、おしゃべりで夢中になっているのは危険！
水に入らず子どもから目を離さない役割を必ず作ってください。
事故は目を離れた時に起こります。
そのことを心に留めておいてください！

<必ず下見を！>

いつもの場所だから、去年と同じ場所だから…
“きっと大丈夫”が危ない!!
きちんと下見をして、今の子ども達のレベルに合っているか確認しておくこと。※別紙下見のポイント参照
子どもも慣れていない時は、より安全な場所を選ぶことをお勧めします。
少し物足りないかな？
くらいから始めましょう。

<大人が多い時ほど注意！>

親子参加型や自主保育グループなど、みんなで子どもを見守っている森のようちえんでは、安全管理が曖昧になりがちです。“何か変だ”と思っても“みんなが気にしてないからいいのかな？”とリスクを見逃してしまうことも。
新米でも参加者でも、変だと思ったら声を挙げて下さい！
**安全に関して
見守りはありえません！**

<活動場所を選ぶ考え方>

対象が乳児の子ども達だったら、小川程度で十分です。ほとんど流れのない水辺で水遊びをする程度でも十分楽しめると思います。無理は禁物。

また幼児の場合でも、大人が、安全管理の自信がない場合は大きな川は選ばず、広くても5m幅くらいの浅い小川を選びましょう。川で流れて遊ぶなどのリスクの高い活動は、専門で行なっている人を呼んで行うか、自然体験のプログラムに参加しましょう。大人も子どもも川の活動に慣れてきたら、次のレベルの活動場所を選び、子ども達の様子をよくみて、活動場所を選びましょう。

<下見のポイント>

“いつもの場所”でも雨が降った後などは、川の様子が変わっている可能性があります。必ず事前の下見をしましょう。そして、危険を感じる時は場所や活動内容の変更・中止をする勇気を持って下さい！

- 危険なもの（ゴミ・流木・浮石）はないか？
- 川の流れの変化、増水の可能性ないか？
- 急な豪雨での逃げ場所などを確認
- 河原で火を焚いた後がある場合、石が焼けている場合があるため、注意する！
- 日当たり・風向きなども確認しておく（寒くなった場合の待機場所など）
- その他、危険な動植物がないかを確認（マムシ注意の看板など）

<活動中の安全管理のポイント>

- 全体を見ている役割を立てる（事前に決めておく）
 - 危険な場面があったら笛を鳴らすなど知らせる方法を考えておく
- 子どもが一人で川に入らない
- 常に子どもの顔色を見る
 - 体が冷えすぎていないかどうかを見る。低体温症のリスクあり。唇が紫になったら、岸に上げること。体が濡れていると通常の25倍の早さで体温を奪われる。また乳児は特にすぐに冷えるので、10～15分おきに休憩を。体が冷えた子には毛布やフリースなどを用意。
- 天候の確認。急な天候の変化にも気づけるように、上流の雲行きは常にチェック。
 - 山の方で豪雨になると増水の可能性あり。すぐ中止すること！また雷の音が聞こえても中止すること！

<川遊びの服装>



- 綿の服は濡れると冷えるのでNG!
- ビーチサンダルはNG!
- 水に入らない子は、衣服の調節に注意し、熱中症にならないように。